

のだけれども、実は退屈している、という例です。

私たちは、この③にあたる、何となく退屈している、ということを経験しているのかもしれませんが。退屈を紛らわすために、人間は昨日と違う何かを求めるのです。テニスやゴルフなど様々なスポーツをする、写真を撮る、絵を描くといった趣味はもちろん退屈を払いのける気晴らしになります。それに打ち込んでいる間は、充実した時間を持つことができます。

しかし、気晴らしは何も趣味だけではありません。良いことも悪いことも、気晴らしになり得ます。例えば、いわゆる不良行動とされるような、大きな音の出るバイクで走ることや、ガラスを割って回ることも気晴らしになり得ます。国家レベルの話で考えてみると、今、日中、日韓の間に摩擦が生じていますが、ナショナリズムを高揚させ、争いを起こすことも退屈を紛らわす気晴らしになってしまいます。国民の間に鬱屈した感情がたまり、何となくすっきりしない、何となく退屈だという状況がナチスドイツや、日本の軍国主義を生んだ、という説明をすることもできるでしょう。出征し、戦地に赴けば、毎日緊張の連続、退屈するわけはありません。先の大戦で、日米開戦の報道を受け、胸のすくような思いを持った、という声も多く聞かれました。

先般、2回目の東京オリンピックの開催が内定しました。スポーツ観戦に熱中することは、「暇と退屈」の論理に従って言えば、気晴らしになります。バブル経済が破綻してから、国や地方の借金も積み上がり、何となくふさぎこんだ気分が広がっているここ20年くらいのことを考えると大きな転機になるかもしれません。56年ぶりの世界的祭典であり、大変喜ばしいことです。大いに熱狂しようではありませんか。

しかし、何となくふさぎこんだ気分を戦争につなげてはなりません。先の大戦でも、多くの国民やマスコミが戦争論者となりました。別に人間が180度変わった訳ではありませんので、私たちの中に、そういう素質があるということをお忘れではありません。「昨日と違う今日」は、健全な形で求められるべきで、そのように自分たちを制することができてこそ人間の英知ではないでしょうか。

まさか「暇と退屈」から戦争のことを考えるととは思わなかった、と興奮にも似た気持ちで本を閉じたのでした。思わぬ本が勉強になります。

活動報告



街頭にて
各地にて(熊谷→行田→羽生→加須) 8/24



座談会
熊谷市雀宮地区岸澤様宅にて 8/29

地域でがんばる人をご紹介!! 地元のがんばりリスト

Gambarist



イタリアで腕を磨く本格派ピアニスト! 森田義史さん(熊谷市)

10月17日(木)にモリモリコンサートを企画しております(詳しくは下記インフォメーションを参照)、今回は、このコンサートに出演予定のピアニスト、森田義史さん(29)をご紹介します!



義史さんが音楽に関わるようになったのは、幼少期。街を歩いていると鳥や信号の誘導音を音階で捉えているのを聞いたお母様が、義史さんの才能を感じ取って、音楽への関わりを深めていったそうです。

その後進学する学校でも音楽を学び、大学を卒業した後、イタリアに渡ります。国立ヴェルディ音楽院にお



屋外での演奏

いて研鑽を重ね、何と首席で卒業!卒業後も現在に至るまでイタリアに残り、教授の指導を受けると共に、教授の補佐役を務めているほか、コンクールの審査員も務め

ていらっしゃるとか。これまでに国内外のコンクールにおいて、優勝を含めて多くの結果を残しており、また多くの演奏会にも出演されています。

モリモリコンサートでは、きっと素晴らしい演奏と、イタリアでの生活のことなど楽しいお話が聞けるとおもいますので、どうぞお誘い合わせの上、お越してください!

INFORMATION

■明るい日本を創る座談会

熊谷市間々田地区 9月22日(日)午後2時～
西倉様宅にて
熊谷市間々田667

■街頭演説

9月21日(土)午後2:00～八木橋東口前
2:20～熊谷駅北口
2:45～埼玉りそな銀行行田支店前
3:20～梅林堂羽生店前
3:50～「加須市役所入口」交差点

■モリモリコンサート

10月17日(木)午後2:00～
ガーデンパレスにて 会費2,500円
地元若手ピアニスト森田義史さんとコラボレーション!
お申し込みは事務所までご一報ください。

いよいよ来月開催!
まだお席あります!!